

会 議 録 ( 1 )

会 議 の 名 称	令和7年度第5回入間市立図書館協議会
開 催 日 時	令和8年3月26日(木) 午前10時00分 開会 ・ 午前11時40分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 501会議室
議 長 氏 名	会長 清水繁
出席委員(者)氏名	清水繁、森谷秀一、北村陽子、松田千代、石川京子、多田麻由美、 浅地由紀子、島津恵子
欠席委員(者)氏名	富井弘、青山衣津子
説明者の職氏名	館長 平岡康子、主幹 松本智、副主幹 松下麗比奈 西武分館長 本田潤一
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開 会 2 会長あいさつ 3 協議事項 (1)第4次入間市立図書館基本計画〔素案(案)〕について 4 報告事項 (1)入間市立図書館設置条例及び管理条例の一部を改正する条例について (2)入間市立図書館分館の指定管理者の決定について (3)令和7年度蔵書点検の結果について【資料3】 (4)令和7年度事業結果について【資料4】 (5)令和8年度事業計画について【資料5】 5 その他 6 閉 会 (すべて公開)
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	・ 次第 ・ 入間市立図書館協議会委員名簿 ・ 第4次入間市立図書館基本計画〔素案(案)〕について【資料1】 ・ 意見・要望等についての対応等【資料2】 ・ 令和7年度 蔵書点検結果について【資料3】 ・ 令和7年度 入間市立図書館事業報告【資料4】 ・ 令和8年度 入間市立図書館事業計画【資料5】
事務局職員職氏名	部長 浅見泰志、次長 新屋朋徳、館長 平岡康子、主幹 松本智、 副主幹 松下麗比奈、主任 佐藤敏章
会議録作成方法	要点筆記方式

## 会 議 録 (2)

### 議事の概要(経過)・決定事項

1.開会

2.会長あいさつ

3.協議事項

(1) 第4次入間市立図書館基本計画〔素案(案)〕について

4.報告事項

(1)入間市立図書館設置条例及び管理条例の一部を改正する条例について

(2)入間市立図書館分館の指定管理者の決定について

(3)令和7年度蔵書点検の結果について【資料3】

(4)令和7年度事業結果について【資料4】

(5)令和8年度事業計画について【資料5】

5.その他

6.閉会

会議録 (3)

発言者	発言内容
松本主幹	3 協議事項 (1) 第4次入間市立図書館基本計画〔素案(案)〕について (資料P1～P23に基づき説明)
清水会長	重点施策の中で図書館の環境整備、効率的な運営において、本館と分館の連携強化は大切であるが、各図書館の地域に根差し、立地を考えたサービスの提供を進めていただきたい
平岡館長	地域に根差した図書館づくりを目指しており、地域で求められている図書館の役割を把握しながら図書館サービスの充実に努めていく。
清水会長	要望として、瑞穂町箱根ヶ崎の図書館との連携を検討して欲しい。
平岡館長	瑞穂町とは隣接していることから、連携ができれば良いと考える。今後の課題として取り組んでいく。
北村委員	二本木地区に建設される商業施設の中にサテライト的な図書館を設け、借受や返却できれば、買い物のついでに来店者の利用が見込めるのではないかな。
平岡館長	施設内への設置は難しいかもしれないが、移動図書館車のステーションとして活用できるかどうか検討していく。
石川委員	利用者には、これからも良い対応をしてもらいたい。しかしながら、宮寺配本所もリニューアルしていただきたい。
平岡館長	環境整備に努める。
多田委員	よく足を運ぶ場所に、返却ボックスがあればよい。
平岡館長	返却ボックスの新規設置にあたっては、設置場所の確保・設備費用・管理・資料の回収体制の整備など、複数の課題があり、直ちに対応することが難しい状況である。今後、財源の確保や他の施設との連携の可能性について検討を続けていく。
石川委員	LINEはどのくらい登録されているのか。LINEがあること、やっていることを知られていない。
平岡館長	現在、1,000件以上の方が利用している。電話であると開館時間での対応となるため、LINEやホームページ等を活用していただきたい。しかしながら、LINEやホームページ不慣れな方に対しては、電話でも対応している。

発 言 者	発 言 内 容
森谷副会長	今までの協議会での意見や課題を考えた時に、取組項目のうち、貸出・返却の新しいサービスや資料の提供、子どもの読書活動の推進、居場所としての図書館環境の充実、この3点が第4次基本計画、今後5年間の核心と感じている。基本計画の中で5年間の核心としてわかるよう、総括的ではなく、核心がわかるような基本計画にしてもらいたい。
平岡館長	基本計画では、5つの基本方針を挙げている。図書館としても、子どもの読書活動の推進については、特に力を入れていきたいと考えている。また、居場所としての図書館環境について、今後の図書館のあり方を考えるにあたり、大切な視点となってくるところから検討していく。 貸出・返却の新しいサービスや資料の提供についても、今後の図書館のあり方を考えていくうえで大切な考え方であり、引き続き検討していく。図書館としても、この3点は力を入れていくべき点ではないかと捉えている。
清水会長	図書購入費について、入間市は狭山市の半分以下である。同額とまでとは言わないがもう少し増額できないか。 多文化サービスの充実、外国語資料、一般書の収集の充実、日本語教材を所蔵し充実してもらいたい。
平岡館長	資料費の財源確保については、市の予算の確保に努めていきたいと考える。補助金等の活用ができるかどうかを含めて、財源確保に努めていく。多文化サービスの資料についても充実を図れるよう努めていきたい。
松田委員	資料17ページの資料編、表1から表10はどこにあるのか。
平岡館長	今回の資料では記載していないが、第4次図書館基本計画の巻末に資料編として、掲載する予定である。
松田委員	今後見られるようになるということか。
平岡館長	第3次図書館基本計画では、それぞれ報告の後ろに表を示していたが、巻末に掲載する予定である。
島津委員	資料2、19ページの一番下AV関係について、将来的にはAVは減らしていく、配信サービスについてどのように考えているのか。
平岡館長	カセットテープ、ビデオテープについては、受入から年数が経っていること、利用者においては再生できる機器が少なくなっていることから、除籍する時期を検討している。CD、DVDについては、配信等での視聴に変遷していることから、新たなサービスの導入について検討している。
島津委員	その場合の費用は有料となるのか。

発 言 者	発 言 内 容
平岡館長	無料で利用できる仕組みもあることから、他市の図書館の事例等を収集していく。
北村委員	資料 17 ページの比較表で、入間市と同程度の人口の市と比較すると、入間市の来館者数は非常に多いことに注目すべきである。実施していることは間違っておらず、もっと発信したりしていくことで、もっと来館者数が増えて図書館の重要性が増してくるのではないかと考える。
平岡館長	ここ数年、貸出件数は落ち込んでいるが、来館者数については維持できている。図書館は、単に本を借りる場所から、誰もが無料で安心して過ごせる「サードプレイス（第三の居場所）」としての役割を強めている。今後図書館が、安全な場所として提供していけるよう検討していく。
浅地委員	視覚障害の方も高齢化しており、こういう本を読みたい、という希望が難しいこともある。 対面朗読については、コロナ禍前も少なかったが、コロナ禍以降全くできていない。ここ数年、使用しておらず、実施したいがなかなか難しい。
平岡館長	ボランティアグループ「はづき」においては、デイジーを作成していただき、入間市の視覚障害者の方に読書の楽しみを伝えていただいている。デイジーの作成には、大変な労力を必要であるが、視覚障害者の方も楽しみにしているので、今後も多くの資料の作成をお願いしたい。
浅地委員	移動図書館車が、老朽化していると感じた。今後も現在の移動図書館車でできるのか。
平岡館長	令和9年度から指定管理による運営となり、移動図書館のあり方を指定管理の中でどのように活かしていくか、検討している。
松田委員	図書館も待っているだけではなく、図書館からどのように発信していくか、が大事になっていて、図書館に来館できない方がいたら、図書館ではなく図書資料をどう利用できるかを考えて、そのような施設に情報を発信していく大切なのではないか。 障害のある方が来館されたら、どのような配慮をしていくのか、レファレンスについても相当知識を蓄えていかないといけない。外への発信と内部強化を本気で考えていかないといけない。
平岡館長	ご意見を踏まえて、図書館の運営をしていく。

発 言 者	発 言 内 容
松本主幹	<p>4 報告事項</p> <p>(1)入間市立図書館設置条例及び管理条例の一部を改正する条例について</p> <p>(2)入間市立図書館分館の指定管理者の決定について</p> <p>3月議会に入間市立図書館設置及び管理条例の一部を改正する条例及び図書館分館の指定管理者の決定について、上程し議決された。</p> <p>(資料なし)</p>
松下副主幹	<p>(3)令和7年度蔵書点検の結果について【資料3】</p> <p>(資料P24に基づき説明)</p>
松下副主幹 本田西武 分館長	<p>(4)令和7年度事業結果について【資料4】</p> <p>(資料P25～P29に基づき説明)</p>
松下副主幹 本田西武 分館長	<p>(5)令和8年度事業計画について【資料5】</p> <p>(資料P30～P33に基づき説明)</p>
森谷副会長	<p>調べる学習コンクールを来年から中学生まで広げる、ということで、全国では中学生も参加しているのか。</p>
本田西武 分館長	<p>全国では12万7千人が応募参加しており、10万人が小学生、2万人が中学生、7千人が大人や親子での参加となっている。</p>
森谷副会長	<p>調べる学習コンクールの結果を見るのを、毎年、楽しみにしている。子どもの目線はすごいと思う。来年度の中学生の成果を楽しみにしている。</p>
佐藤主任	<p>5 その他</p>
松本主幹	<p>「第4次 入間市立図書館基本計画〔素案(案)〕に対する意見」の提出について(用紙配布) 4月3日(金)締切</p>
	<p>6 閉会</p>

